

JAXA 鹿児島宇宙センタの川上室長が資料 31-3(H- A # 18 打上げ準備状況)を 5 分程で説明した後、2 分程の質疑応答があった。

池上委員長:有難う御座いました。ご意見御座いますか?...此れあの、打上げの余裕ってのはどうなってるんですか?

JAXA 川上:予備時間?

池上委員長:予備...ええ、予備...要するに今、9月11日になってますヨネ、で、もう一寸遅れても...今回は...特には...構わない訳ですか?¹

JAXA 川上:はい、あの、先ず、当日、2 頁をご覧頂きますと、11 日の日につきましては 20 時 17 分から 59 分間の予備が御座います。此の間に打上げられれば、当日打上げられると。で、まあ、仮に其の時間に打上げられなかった場合には、翌日から 30 日まで、予備期間として設定して居りますので、其の間に打上げる事となります。

池上委員長:で、そもそも延びた原因で云うのは衛星側にあった訳ですが、衛星側の方から何か...唯上げてくれて云う話しか来ない訳ですか。あの、フライホイールを交換した訳で

すヨネ工²。...ア、此処でも。(誰かが脇から発言した様であるが全く聞き取れない)...アア、そうですか。で、一応順調に行ってる。

JAXA 川上:そうですネ、あの、此方では8月4日の日に状況をご報告致しまして、其れで打上げ日を設定させて頂いたと云う事なんです。で、あの、今の状況、勿論あの、順調に行って居りまして、ロケット側に引き渡されていると云う状況で御座います。

池上委員長:で、で、現場には森尾さんに行って貰う事になってるんですネ。...で、予定通り行く事を、あの、勿論希望して居りますんで、宜しくお願いします。...エー、何かあの、御座います? 後藤さんの方から。

MHI 後藤:ア、あのー、我々打上げ執行を行なう立場としまして、まああのー、残された作業を確実に、責任を持ってこなして行くと云う事に集中して、打上成功を目指したいと思って居ります。以上で御座います。

池上委員長:期待して居ります。宜しくお願いします。どうも有難う御座いました。(次の議題に進んだ。)

¹ 質問の主旨が伝わらないと思われる。資料 2 頁の下端には、何時ものように、打上げ日時、ウィンドウ、打上げ予備期間が示されている。従って、何時もととは違う事で思い当たるのは、漁業者との調停に依って通年での打上げが可能になった事である。其処に具体的に言及しなければ、試料の記事を繰り返し説明するだけになってしまって当然だろう。

² 質問の主旨は遅延による(射場作業の増大=利益の損失)の補償だろう。其れは JAXA と衛星メーカーの契約、JAXA と MHI の打上げ契約で明記されている筈であり、其れを敢えて公開の場で質問する意義を感じる事が出来ない。外国の衛星を打上げる場合には、契約書の中で明記すべき重要な項目にはなるだろうが、此処で打上げるのは JAXA の衛星である。